

庶民大増税と負担増から 区民生活を守れ

二〇〇七年第一回定例会は、二月二三日から開催され、代表質問を風見利男区議、一般質問を熊田ちづ子区議が行いました。以下に、質問と答弁の要旨を紹介します。

増税から区民生活を 守るために

【質問】 支援策や激変緩和策は、二年間に限らず継続実施を。所得の少ない高齢者を非課税扱いに。国民健康保険料の均等割の引上げは行わないこと。

【答弁】 現時点では考えていない。地方税法で決められているためできない。一三三区の統一保険料方式で行う。

【質問】 高齢者対策事業の連絡協議会設立と総合的対策の検討を。総合支所による訪問活動の充実を。

【答弁】 十九年度に連絡協議会を設置し、高齢者の見守り事業について検討する。今後、訪問活動を充実する。

【質問】 高齢者対策事業の連絡協議会設立と総合的対策の検討を。総合支所による訪問活動の充実を。

【答弁】 十九年度に連絡協議会を設置し、高齢者の見守り事業について検討する。今後、訪問活動を充実する。

【質問】 消費者金融被害者対策について

【答弁】 「第二次港区住宅基本計画」の見直しの中で検討。

【質問】 奄美市では多重債務者に対し、関係部署と連携し法的支援・生活支援・精神的支援を行い、その解決を図り、滞納していた保険料や住民税なども納入された。この先進例に学ぶべき。

【答弁】 多重債務者からの相談には、区の法律相談や専門機関を紹介するとともに、関係部署が連携し、生活支援を行う。

【質問】 「まち破壊」の再開発への補助金・交付金の支出を中止せよ。絶対高さ制限の検討・実施を。

【答弁】 今後も事業を推進する再開発組合などに対し、補助金・交付金を執行する。これまで厳しい日影規制や高度斜線を課してきたので、現在は考えていない。

【質問】 「まち破壊」の再開発への補助金・交付金の支出を中止せよ。絶対高さ制限の検討・実施を。

【答弁】 今後も事業を推進する再開発組合などに対し、補助金・交付金を執行する。これまで厳しい日影規制や高度斜線を課してきたので、現在は考えていない。

【質問】 早急に、青山・西麻布など交通不便地域に「ちいばす」の運行を。七十歳以上の希望者や特殊疾病患者、妊産婦には、無料乗車券の支給を。

【答弁】 「港区地域交通のあり方検討委員会」の報告を受けて、区としての考え方を示す。

【質問】 安い家賃の区営住宅の建設を。子育て中の世帯、若者、高齢者が住めるための家賃助成制度の復活・充実を。シルバーピア住宅の建設を。

【答弁】 安い家賃の区営住宅の建設を。子育て中の世帯、若者、高齢者が住めるための家賃助成制度の復活・充実を。シルバーピア住宅の建設を。

【質問】 安い家賃の区営住宅の建設を。子育て中の世帯、若者、高齢者が住めるための家賃助成制度の復活・充実を。シルバーピア住宅の建設を。

【答弁】 安い家賃の区営住宅の建設を。子育て中の世帯、若者、高齢者が住めるための家賃助成制度の復活・充実を。シルバーピア住宅の建設を。

【質問】 安い家賃の区営住宅の建設を。子育て中の世帯、若者、高齢者が住めるための家賃助成制度の復活・充実を。シルバーピア住宅の建設を。

【答弁】 安い家賃の区営住宅の建設を。子育て中の世帯、若者、高齢者が住めるための家賃助成制度の復活・充実を。シルバーピア住宅の建設を。

【質問】 安い家賃の区営住宅の建設を。子育て中の世帯、若者、高齢者が住めるための家賃助成制度の復活・充実を。シルバーピア住宅の建設を。

【答弁】 安い家賃の区営住宅の建設を。子育て中の世帯、若者、高齢者が住めるための家賃助成制度の復活・充実を。シルバーピア住宅の建設を。

日本共産党 港区議員団ニュース 2007年3月号外('07年度1定特集)
発行:港区芝公園1-5-25 発行所:港区芝公園1-5-25
☎(3578)2945~6
ホームページ: <http://www.jcp-mi-natokugi-dan.gr.jp> 携帯用QRコード

日本共産党港区議員団は、本会議の質問と答弁を発表しました。

増税・負担増スケジュール

	所得税	住民税	年金保険料
2006年	1月 定率減税半減 老年者控除廃止	6月 定率減税半減 老年者控除廃止	4月 国民年金 月13,580 13,860円 10月 厚生年金 14.288 14.642%
2007年	1月 定率減税全廃 税率変更 税源委議に伴う	6月 定率減税全廃 税率変更 7月 参院選挙 消費税上げ検討	4月 国民年金 月13,860 14,100円 国保料均等割1,800円増 均等割 年33,300 35,100円 10月 厚生年金 14.642 14.996%
2008年		6月 年金生活者への 経過措置終了	4月 国民年金 月14,100 14,380円

サラ金の看板で埋め尽くされたビル



区民本位のまちづくりについて

【質問】 「まち破壊」の再開発への補助金・交付金の支出を中止せよ。絶対高さ制限の検討・実施を。

【答弁】 今後も事業を推進する再開発組合などに対し、補助金・交付金を執行する。これまで厳しい日影規制や高度斜線を課してきたので、現在は考えていない。

区民が安心して住める住宅政策について

【質問】 安い家賃の区営住宅の建設を。子育て中の世帯、若者、高齢者が住めるための家賃助成制度の復活・充実を。シルバーピア住宅の建設を。

「ちいばす」について



バス停への屋根かけ 赤坂総合支所前

【質問】 早急に、青山・西麻布など交通不便地域に「ちいばす」の運行を。七十歳以上の希望者や特殊疾病患者、妊産婦には、無料乗車券の支給を。

【答弁】 「港区地域交通のあり方検討委員会」の報告を受けて、区としての考え方を示す。

裏面もご覧ください。

今後、七十歳以上の希望者には、発行対象の拡大とともに、難病患者、妊産婦には無料で発行する。
今後、道路状況を見ながらベンチや屋根を設置する。

区内全駅のバリアフリー化について

【質問】基本構想待ちにせず、鉄道事業者に対し、すべての出入り口のバリアフリー化をすすめるよう要請すべき。

【答弁】区は、現在、「港区交通バリアフリー基本構想」の策定に向け、交通事業者を含む協議会を設置しており、その中で要請する。

災害時用マンホールトイレの整備方針について

【質問】全体計画の前倒しで、早期にすべての小中学校への設置を

【答弁】可能な限り、前倒しも含め早期の整備に取り組む。

屋外スポーツ施設の確保について

【質問】芝浦南ふ頭の整備・開放を早期に（写真）。都立芝公園グラウンドの移管を都に働きかけよ。品川北ふとう公園を港区に移管させること。芝浦北ふ頭公園の整備・開放について。 東京海洋大学等の



グラウンドの区民開放を。芝浦水再生センターの蓋かけを急ぎ、上部を整備して開放するよう要請すること。

【答弁】平成二十年度早期に少年野球や少年サッカーなど多目的運動広場として開放する。区への移管については困難。区で管理、運営できるように都に働きかける。都に区立公園として移管を要望する。引き続き要望する。引き続きグラウンド等の区民向け開放について、協議を続ける。今後機会をとらえ、都に要望。

保育園の待機児童解消について



【質問】公立保育園の建設計画の具体化を。飯倉保育園仮園舎を継続活用し、現在と同様の規模での開設とすべき。

【答弁】今後の保育施設の設置については、多様な事業主体を視野に入れ早急に検討。引き続き教育委員会と協議するが、仮施設としての改修工事もあり、四月からの事業開始は困難。

麻布保育園・福祉会館の早期建替えについて

【質問】擁壁調査によっては、別の場所での建て替えを検討すべき。可能であれば、現計画を前倒しして、利用者の期待に応えよ。

【答弁】調査結果を踏まえ、別な場所での建替えも含め検討する。

介護保険料の軽減について

【質問】一般財源を投入し、介護保険料を引き下げよ。調整交付金を別枠にするよう、改めて申し入れに区の一般財源を投入し、介護保険料を引き下げよ。

【答弁】将来にわたり、安定した介護保険制度を運営していくためには、介護保険料に区の一般財源を投入することは適当ではない。国に対しては、調整交付金の別枠化を要望する。介護保険の財源構成を崩すとともに、国の負担責任をあいまいにするので、適当ではない。

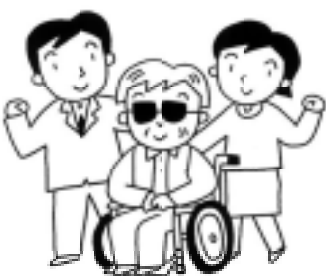
介護ベッドについて

【質問】新規認定者を対象にすべき。

【答弁】原則として貸与できないが、地域包括支援センター等が中心となり、その方にふさわしいサービスを総合的に組み立て、自立を支援する。

障害者自立支援法について

【質問】国の特別対策を受け、港区独自の軽減策をさらに拡大すべき。具体的には、港区独自の負担上限額をさらに引き下げよ。所得制限なしで三％への利用者負担の軽減を。移動支援事業を無料に。精神障害者への心身障害者福祉手当の支給を。



【答弁】さらなる引き下げは考えていない。利用ごとの負担率の軽減は、考えていない。本年四月から区民税非課税世帯の利用者負担については、必要時間数を無料とする。必要なサービスについて、手当の支給も含め、さらに検討。

古川地下調節池について

【質問】早期設置と、用地の確保を。

【答弁】平成十九年度に基本設計・詳細設計し、二十年度に着工予定。



目黒通り下に設置された雨水貯留管内部

就学相談のあり方について

【質問】就学前の児童の情報を収集すること。

保護者への丁寧な説明を。就学判定基準を保護者に明らかにすること。

【答弁】保護者の同意を得ながら、できるだけ多く収集し、就学の際の判定に生かす。今後、保護者の信頼を得られる就学相談に努める。丁寧な説明と、相談体制を充実する。

その他に、重症心身障害者（児）の通所施設の開設について、移転予定の都営住宅跡地について、小学校の校庭の芝生化について、乳がん検診のエコー検査導入について、などを質問しました。